

# 2016(平成28)年度事業報告書 附属明細書

自 2016(平成28)年4月  
至 2017(平成29)年3月

公益財団法人 日中医学協会

# 目 次

日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業	1
日中笹川医学協力プロジェクト協定書調印	5
常任理事会（業務執行理事会）の開催	9
2016 年度委員会委員名簿	10

## 事業報告

### ア 研究助成事業

1. 日中笹川医学奨学金制度	12
1) 第 38 期研究者受入事業	
2) 第 39 期研究者募集及び選考	
2. 共同研究等助成事業	13
1) 2016 年度共同研究等助成金受給者	
2) 2017 年度共同研究等助成金受給者選考	
3. 中国人医師・研究者招聘事業	15
1) 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト	

### イ 学術会議開催事業

1. 主催・主管・協力事業	16
1) 日中医学交流会議：日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念講演	
2) 第 3 回日中医学交流フォーラム	
3) 日中子宮内膜症交流サミット	
2. 共催・後援事業	18
1) 日中医学学術交流大会 2016 東京：日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業	
2) 2016 年度医学生のための漢方医学セミナー	
3) 中医学講座シリーズ	

### ウ 医療協力事業

1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業	19
2. 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）	24
3. 専門家派遣事業	24
4. 医療関連訪日団招請事業	25
5. 訪中団派遣事業	27
6. 日中医学協会への表敬訪問	27

### エ 広報事業

1. 機関誌『日中医学』の発行	27
2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行	27
3. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	27
4. ホームページの拡充	27

## 委員会開催報告

1. 共同研究等助成事業委員会	28
2. 医療協力事業運営委員会－日中笹川医学協力プロジェクトWG	28
3. 医療協力事業運営委員会－日中医療交流推進プロジェクトWG	28
4. 広報委員会	28

## 総務報告

I. 中国国家衛生・計画生育委員会関係部門との協議	30
II. 財務基盤の拡充	
A. 会員拡大	30
B. 募金活動	30
C. 日本財団に対する助成金申請	30
III. 協会運営に係る事項	
A. 内閣府による立入検査実施	30
B. 役員の変更	31

資料 1 日中笹川医学奨学金制度第 38 期研究者名簿	32
資料 2 日中消化器内視鏡診断治療・病理合同研修プロジェクト第 3 期研修生名簿	33
資料 3 日中消化器内視鏡診断治療・病理合同研修プロジェクト第 4 期研修生名簿	34
資料 4 日中医学協会役員等名簿	35

## 日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業

2016 年に日中医学奨学金制度が発足 30 周年を迎え、日本財団と協力し、記念式典・記念講演・経験交流会（懇親会）を開催した。また、笹川医学奨学金進修生同学会と協力し「日中医学学術交流大会 2016 東京」を開催した。記念事業の内容は、機関誌『日中医学』VOL.31 NO.4「特集：日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業」に掲載した。

### 1. 日中医学学術交流大会 2016 東京

日 時：2016 年 10 月 14 日(金) 09:30～11:30

場 所：ベルサール新宿グラウンド 5 階 コンファレンスセンター

主 催：公益財団法人日中医学協会、笹川医学奨学金進修生同学会

助 成：公益財団法人日本財団

後 援：厚生労働省、外務省、経済産業省、中華人民共和国駐日本国大使館、公益社団法人日本医師会、日本医学会、公益社団法人日本歯科医師会、日本歯科医学会、公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人日本看護協会

参加者延数：311 名（笹川医学奨学金進修生同学会会員 307 名、日本側専門家 4 名）

概 要：笹川医学奨学金進修生同学会が毎年中国国内で開催している学術交流会を、30 周年記念式典開催に合わせ、今年では日本で開催した。本交流会は、同学会会員が各自の研究成果を報告し合い、情報交換を行うことを目的とする。今回は分科会形式で行われ、それぞれの領域のリーダーとなっている同学会会員が講演を行い、「看護学」と「伝統医学」の分科会では、日本人専門家も講演した。どの分科会も活発な質疑応答が行われ、大変有意義な大会となった。

分科会：

「がん診断治療と最新医療技術」

座 長：李 曉陽 ハルビン市第一医院消化外科教授（8 期生）

演 者：冉 玉平 四川大学華西医院皮膚科教授（4 期生）

欧 周羅 復旦大学附属腫瘍医院乳腺癌研究所教授（11 期生）

唐 小海 重慶萊美薬業有限公司首席科学家（11 期生）

李 曉陽 ハルビン市第一医院消化外科教授（8 期生）

「看護学と老年医学」

座 長：胡 秀英 四川大学華西医院護理学院院長（18 期生）

呉 小玉 兵庫県立大学大学院看護学研究科教授（21 期生）

演 者：山本則子 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻高齢者在宅長期ケア看護学教授

山本あい子 兵庫県立大学地域ケア開発研究所教授

丁 群芳 四川大学華西医院老年科/華西老年医学センター老年科教授（25 期生）

趙 秋利 ハルビン医科大学護理学院護理学教授（4 期生）

「伝統医学と新薬論壇」

座 長：韓 晶岩 北京大学医学部中西医结合学系教授（9 期生）

山田陽城 日中医学協会評議員・広報委員会副委員長、東京薬科大学特任教授

演 者：磯濱洋一郎 東京理科大学薬学部薬学科教授

韓 晶岩 北京大学医学部中西医结合学系教授（9 期生）

李 平 中日友好医院主任醫師（11 期生）  
王 喜軍 黒龍江中医薬大学副学長（10 期生）

「予防医学と健康教育」

座 長：康 熙雄 首都医科大学附属北京天壇医院教授（20 期生）  
演 者：李 南方 新疆ウイグル自治区人民医院副院長（7 期生）  
黄 麗輝 首都医科大学附属北京同仁医院主任醫師（19 期生）  
馬 迎華 北京大学医学部兒童青少年衛生研究所副所長（23 期生）  
康 熙雄 首都医科大学附属北京天壇医院教授（20 期生）

## 2. 日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業

日 時：2016 年 10 月 14 日(金) 13:30～20:00

場 所：ベルサール新宿グラウンド 1 階 ホール A・B

主 催：公益財団法人日本財団、中国国家衛生・計画生育委員会

主 管：公益財団法人日中医学協会、笹川医学奨学金進修生同学会

後 援：厚生労働省、外務省、経済産業省、中華人民共和国駐日本国大使館、公益社団法人日本医師会、  
日本医学会、公益社団法人日本歯科医師会、日本歯科医学会、公益社団法人日本薬剤師会、  
公益社団法人日本看護協会

参加者延数：438 名

中国側参加者 325 名（来賓 18 名、笹川医学奨学金進修生同学会会員 307 名）

日本側参加者 113 名（日本側専門家、関係団体他）

中国側来賓：18 名

馬曉偉 中華人民共和国国家衛生・計画生育委員会副主任（副大臣）  
侯 岩 同委員会企画情報担当官房審議官  
李路平 同委員会医政医療管理局副局長  
李明柱 同委員会国際協力担当副官房審議官  
邵 夢 同委員会国際協力担当アジア・アフリカ課副課長  
王 斐 同委員会副大臣秘書  
戴 維 同委員会国際交流センタープロジェクトリーダー  
王 辰 中日友好医院院長  
喬 薇 中日友好医院幹部総合第一病棟副主任  
尹勇鉄 中日友好医院対日事業専門係係長  
程永華 中華人民共和国駐日本国特命全権大使  
袁 睿 中華人民共和国駐日本国特命全権大使秘書  
阮湘平 中華人民共和国日本国大使館科学技術処公使参事官  
陳 喆 中華人民共和国日本国大使館科学技術処三等書記官  
孫家寧 中華人民共和国日本国大使館教育処二等書記官  
喬 穎 中華人民共和国日本国大使館教育処二等書記官  
盛弘強 中華人民共和国駐大阪総領事館教育室領事  
孫賀一 衛生部中国医科大学語学研修センター副主任

概 要：本制度が継続されてきた過程で、節目の年には記念式典を行っている。今回、日中医学協会と

笹川医学奨学金進修生同学会は主管という立場で記念式典開催に関わった。記念式典に先立ち、記念講演会が開催され、高久史麿協会会長の挨拶の後、日本側 1 名と中国側 1 名が記念講演を行った。時代の先端を行く内容で、活発な質疑応答も行われ、参加者にとって有益な時間となった。その後の記念式典では、主催者挨拶、祝辞の後、小川秀興日中医学協会理事長と趙群笹川医学奨学金進修生同学会理事長の基調報告が行われ、今後の本事業を見据えてこれまでの取り組みと第 5 次奨学金制度の方向性が紹介された。経験交流会（懇親会）では、同学会会員同士、また同学会会員と日本側専門家、スポンサーシップ協力企業担当者等が懇談する姿が会場の至る所で見られ、これを機に日中間の交流がさらに深まっていくと思われる。

## 1) 記念講演

司 会：江藤一洋 日中医学協会業務執行理事、一般社団法人アジアデンタルフォーラム理事長

開会挨拶：高久史麿 日中医学協会会長、日本医学会会長

主 題：日中両国の医学医療領域における先進課題

記念講演

演 者：魏于全 中国科学院院士、四川大学副学長、笹川医学奨学金進修生同学会副理事長、  
日中笹川医学奨学金制度第 8 期研究者

「Tumor Microenvironments and Biotherapy」

座 長：日比紀文 日中医学協会業務執行理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長

王 喜軍 黒龍江中医薬大学副学長、笹川医学奨学金進修生同学会副理事長、  
日中笹川医学奨学金制度第 10 期研究者

記念講演

演 者：岡野栄之 慶應義塾大学医学部長、生理学教授

「iPS 細胞技術を用いた未来の医療の開発」

座 長：新井 一 日中医学協会業務執行理事、順天堂大学学長

韓 晶岩 北京大学医学部中西医结合学系教授、笹川医学奨学金進修生同学会副理事長、  
日中笹川医学奨学金制度第 9 期研究者

## 2) 記念式典

司 会：林 謙治 日中医学協会業務執行理事、国立保健医療科学院名誉院長

挨拶：笹川陽平 日本財団会長

馬 曉偉 中国国家衛生・計画生育委員会副主任

祝 辞：古屋範子 厚生労働副大臣

程 永華 中国駐日本国特命全権大使

基調報告：小川秀興 日中医学協会理事長、学校法人順天堂理事長

「日中笹川医学奨学金制度 30 年の歩みー原点に立ち、未来へ歩む」

基調報告：趙 群 笹川医学奨学金進修生同学会理事長、遼寧省政治協商会議常務委員

「笹川医学奨学金進修生同学会の活動と今後の展望」

### 3) 経験交流会（懇親会）

挨拶：尾形武寿 日本財団理事長

乾杯：紀伊國献三 笹川記念保健協力財団会長

閉会挨拶：安達 勇 日中医学協会副会長、静岡県立静岡がんセンター参与

### 3. 機関誌『日中医学』VOL. 31 NO. 4「特集：日中医学協会財団設立 30 周年事業」

#### 1) 掲載内容（日中両言語掲載）

##### (1) 日中笹川医学奨学金制度概要、年表

##### (2) 日中医学学術交流大会 2016 東京

プログラム、演者学歴・経歴、講演抄録、日中笹川医学奨学金制度研究者としての留学感想

##### (3) 日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念行事

記念講演、挨拶、祝辞、基調報告

### 4. 日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業スポンサーシップ協力企業・団体・大学

スポンサーシップ協力金総額：2,993,800 円

企業展示ブース：

アクセース株式会社、テルモ株式会社、株式会社ミノファーゲン製薬（五十音順）

カタログ展示：

株式会社システム環境研究所、東レ株式会社（五十音順）

賛助金：

オリンパス株式会社、花王株式会社、サクラグローバルホールディング株式会社、塩野義製薬株式会社、第一三共株式会社、株式会社ツムラ、東京女子医科大学、日本製薬団体連合会、日本農薬株式会社

（五十音順）

『日中医学』VOL. 31 NO. 4「特集：日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業」への広告掲載：

アストラゼネカ株式会社、アレクシオンファーマ合同会社、MSD 株式会社、大塚製薬株式会社、クラシエ薬品株式会社、興和株式会社、一般社団法人国際医療健康交流機構、サクラファインテックジャパン株式会社、塩野義製薬株式会社、株式会社システム環境研究所、株式会社島津製作所、大鵬薬品工業株式会社、中外製薬株式会社、株式会社ツムラ、テルモ株式会社、久光製薬株式会社、富士レビオ株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社（五十音順）

## 日中笹川医学協カプロジェクト協定書調印

2017年2月17日、北京・人民大会堂において、第五次日中笹川医学奨学金制度を含む「日中笹川医学協カプロジェクト」協定書調印式が行われ、横井裕在中国日本国特命全権大使や多くの笹川医学奨学金進修生同学会（日中笹川医学奨学金制度研究者同窓会）の会員や関係者が見守る中、日本財団、日中医学協会、中国国家衛生・計画生育委員会の三者間で調印した。第五次日中笹川医学奨学金制度は、日中医学交流の新しい形を目指し、これまでの制度と異なる全く新しい制度として実施するものである。

本プロジェクトの2018年度開始に伴い、日中笹川医学奨学金制度も第40期研究者から第五次制度の新しい内容で開始する。

### 1. 日中笹川医学協カプロジェクト協定書の締結

日 時：2017年2月17日(金) 10:00～10:50

場 所：人民大会堂 重慶ホール

式次第：開 会（司 会：李明柱 中国国家衛生・計画生育委員会国際合作司副司長）

挨拶 崔 麗 中国国家衛生・計画生育委員会副主任

尾形武寿 日本財団理事長

祝 辞 横井 裕 在中国日本国特命全権大使

調 印 尾形武寿 日本財団理事長

小川秀興 日中医学協会理事長

崔 麗 中国国家衛生・計画生育委員会副主任

記念写真

閉 会

日本側出席者：

横井 裕 在中国日本国特命全権大使

羽野嘉朗 在中国日本国大使館一等書記官

柴戸ひとみ 在中国日本国大使館三等書記官（通訳）

田中英治 在中国日本国大使館警備対策官

尾形武寿 日本財団理事長

佐藤英夫 日本財団常務理事

原田貴美子 日本財団審査本部国内事業審査チームチームリーダー

福田英夫 日本財団コミュニケーション部部长

宮崎 正 日本財団参与

田野幸伸 日本財団ホームページ編集長

胡一平 笹川平和財団笹川日中友好基金室主任研究員（通訳）

小川秀興 日中医学協会理事長

安達 勇 日中医学協会理事・副会長

本田伸吾 日中医学協会事務局長

岡田光子 日中医学協会事務局次長

太田晶子 日中医学協会医療協力事業担当

李 梨 順天堂大学国際交流センター職員（小川理事長秘書兼通訳）

日本メディア 10 名

中国側出席者：

崔麗 中国国家衛生・計画生育委員会副主任  
李明柱 中国国家衛生・計画生育委員会国際合作司副司長  
邵夢 中国国家衛生・計画生育委員会国際合作司垂太処副処長  
尤和娟 中国国家衛生・計画生育委員会国際合作司垂太処官員  
戴維 中国国家衛生・計画生育委員会国際交流与合作中心官員（通訳）  
趙群 笹川医学奨学金進修生同学会理事長  
王喜軍 笹川医学奨学金進修生同学会副理事長  
李忠金 笹川医学奨学金進修生同学会秘書長  
許順 笹川医学奨学金進修生同学会副秘書長  
韓晶岩 笹川医学奨学金進修生同学会華北地区責任者  
劉愛民 笹川医学奨学金進修生同学会西南地区責任者  
孫偉 笹川医学奨学金進修生同学会華東地区責任者  
李永国 笹川医学奨学金進修生同学会華南地区責任者  
李顕筑 笹川医学奨学金進修生同学会常務理事  
胡秀英 笹川医学奨学金進修生同学会常務理事  
李国棟 笹川医学奨学金進修生同学会理事 他（笹川医学奨学金進修生同学会会員約 30 名出席）  
中国メディア 10 名

## 2. 日中笹川医学協力プロジェクト協定書

日本財団と中華人民共和国国家衛生和計画生育委員会（以下、「中国国家衛生計生委」と略称する）と日中医学協会は、日中笹川医学協力プロジェクト第五次（以下、「本プロジェクト」と略称する）について、ここに協定を締結する。

本プロジェクトは、1986年8月14日、笹川記念保健協力財団笹川良一会長、日中医学協会石館守三理事長、中華人民共和国衛生部陳敏章副部長の三者による調印でスタートした日中笹川医学奨学金制度を継続し、発展させるものである。

同制度は、第一次及び第二次 10 年、第三次 5 年並びに第四次 5 年を経て、中国の医学・医療分野で二千名余の人材を育成し、中国の医療衛生水準の向上と、医学・医療分野の交流を通じた中日両国の相互理解の促進に貢献してきた。

30 年にわたり同制度が築いた功績を継承しつつ、中国の経済と科学技術等の発展並びに医学・医療の実情に相応しい制度に変革した新たな日中笹川医学協力プロジェクト第五次を次のとおり協定し、調印する。

### 1. 本プロジェクトの目的

中国の医学・医療分野において有数の指導者となりうる人材を育成し、中日両国の医学・医療分野における協力関係を一層促進することにより、中国国民の健康と福祉の向上及び中日両国の相互理解の促進を目的とする。



## 2. 本プロジェクトの構成

### (1) 第五次日中笹川医学奨学金制度

次の2コースで構成し、2018年4月1日から開始する。

#### ① 共同研究コース（2023年3月31日終了）

中国の医学・医療分野で活躍する高度な専門知識を有する人材が、日本の大学、病院、研究所等で日本の研究者あるいは研究機関と共同で行う研究活動を支援する。

日本財団は、研究機関に交付する研究費並びに別途定める生活費を奨学金として支援する。また、日本で行う本制度に関連する催事（オリエンテーション及び歓迎式典、研究セミナー、修了式典）の開催費用を負担する。その他の費用（奨学生の渡航費用、訪日前の日本語研修等）は奨学生の派遣元機関が負担する。

原則として、毎年支援する奨学生は20名、最長6か月間とする。支援期間並びに支援人数は、奨学金助成総額を上限に、日本財団の承認を得て変更することができる。

#### ② 学位取得コース（2024年3月31日終了）

中国の医学・医療分野において有数の指導者となりうる若手の人材が、日本の大学、病院、研究所等で研究活動を行い、日本の博士号を取得することを支援する。

日本財団は、研究機関に交付する学費及び別途定める生活費を奨学金として支援する。また、日本で行う本制度に関連する催事（オリエンテーション及び歓迎式典、研究セミナー、修了式典）の開催費用を負担する。その他の費用（奨学生の渡航費用、訪日前の日本語研修等）は奨学生の派遣元機関が負担する。

原則として、毎年支援する奨学生は10名とし、支援期間は2年間とする。

2年間の課程修了後、奨学生が博士学位未取得の場合は、帰国後、引き続き日本側受入機関及び指導教官と学術交流を行い、帰国3年以内に論文博士学位を取得することとする。

中国国家衛生計生委と日中医学協会は、奨学生の人選に当たり、当該分野における指導者あるいは将来指導者となりうる優秀な人材を選抜する。日中医学協会は、研究者を受け入れるに当たり、当該研究分野の適切な指導教官と研究機関を紹介する。

中国国家衛生計生委と日中医学協会は、共に奨学生の確保に責任を持つ。

### (2) 笹川医学奨学金進修生同学会事業

笹川医学奨学金進修生同学会と日中医学協会は、中国国内で人材育成、学術交流会等を実施する。

本事業実施に必要な費用は、中国国家衛生計生委が国内関係先と協議調整し、日本財団と共同負担とする。

3. 本プロジェクトは、日中医学協会及び笹川医学奨学金進修生同学会が共同で実施し、日本財団と中国国家衛生計生委は必要な管理と支援を行う。

4. 本プロジェクトを実施するため、日中医学協会及び笹川医学奨学金進修生同学会は、実施要項を作成し、日本財団と中国国家衛生計生委の承認を得る。

5. 本プロジェクト実施期間中に解決すべき課題がある場合には、中日双方は誠意をもって協議する。

6. 本協定は2017年2月17日に調印し、調印の日から効力を発する。  
本プロジェクトの実施に伴い、第四次日中笹川医学協力プロジェクトを終了する。

7. 本協定の有効期限は2024年3月31日までとする。

この協定書は、日本語及び中国語で作成し、等しく正本とする。  
日本語及び中国語の協定書は各3通作成し、三者が各1通を所持するものとする。

日 本 財 団  
理事長 尾形 武寿

中華人民共和国  
国家衛生和計画生育委員会  
副主任 崔 麗

公益財団法人 日中医学協会  
理事長 小川 秀興

## 常任理事会（業務執行理事会）の開催

開催年月日	議事事項	会議の結果
2016. 05. 13	公益第 13 回（第 246 回）常任理事会 ○ 公益第 12 回理事会の議案について ○ 日中笹川医学奨学金制度第 5 次制度のあり方について ○ その他 ①学術シンポジウムへの後援名義使用について ②第 3 回日中医学交流フォーラムについて ③(独)科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」による招請事業について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2016. 06. 15	公益第 14 回（第 247 回）常任理事会 ○ 日中笹川医学奨学金制度第 5 次制度について ○ 機関誌『日中医学』Vol. 31 No. 4「日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業特集」掲載内容について	全員一致了承 全員一致了承
2016. 07. 28	公益第 15 回（第 248 回）常任理事会 ○ 公益第 13 回理事会、第 7 回評議員会（共にみなし決議）開催について ○ 日中笹川医学奨学金制度第 5 次制度について ○ 日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2016. 09. 21	公益第 16 回（第 249 回）常任理事会 ○ 日中笹川医学奨学金制度第 5 次制度について ○ 日本財団への 2017 年度事業助成申請について ○ 2017 年度共同研究等助成事業実施について ○ その他 ①経理規程第 42 条に基づく「外国通貨による金銭の支払細則」の制定について ②日中医学協会入居ビルの賃貸人変更について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2016. 11. 29	公益第 17 回（第 250 回）常任理事会 ○ 日中笹川医学奨学金制度第 5 次制度について ○ 日中医学協会 2017 年度事業計画について ○ 役員等職務権限規程の改定について ○ 中国における銀行口座開設について ○ その他 ①特定資産（公益積立金、基盤積立金）の指定について ②小野先生ご提案（日中国交正常化 45 周年記念事業等について）	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2017. 02. 27	公益第 18 回（第 251 回）常任理事会 ○ 公益第 14 回理事会議案について ○ 日中国交正常化 45 周年記念事業について ○ その他 ①内閣府立入検査について ②プレミアムフライデーの導入について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承

## 2016 年度委員会委員名簿

### 1. 共同研究等助成事業委員会（任期：2015 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日）

委員長	武藤徹一郎	理事、がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長
副委員長	跡見 裕	理事、杏林大学学長
委員	五十嵐正広	がん研究会有明病院内視鏡診療部顧問
	今井 裕	日本歯科医学会副会長、獨協医科大学医学部特任教授
	金井 Pak 雅子	関東学院大学大学院設置準備室教授・室長
	杉山 清	評議員、星薬科大学副学長
	菅村 和夫	宮城県立がんセンター発がん制御研究部特任部長
	高本 眞一	三井記念病院院長
	松村 英雄	日本歯科医学会副会長、日本大学歯学部教授
	御子柴克彦	理化学研究所脳科学総合研究センター シニア・チームリーダー
	安原 眞人	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科薬物動態学分野教授
	渡辺 純夫	順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学教授
	渡邊 治雄	国立感染症研究所名誉所員
	渡邊 善照	東北医科薬科大学病院薬剤部薬剤部長、臨床薬剤学特任教授

### 2. 医療協力事業運営委員会

（2015 年 5 月 13 日開催公益第 7 回理事会に於いて改編、任期：2015 年 5 月 13 日～2017 年 3 月 31 日）

委員長	江藤 一洋	業務執行理事、アジアデンタルフォーラム理事長
副委員長	新井 一	業務執行理事、順天堂大学学長
	日比 紀文	業務執行理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター長

### 3. 医療協力事業運営委員会－日中笹川医学協力プロジェクトWG

（任期：2015 年 5 月 13 日～2017 年 3 月 31 日）

委員長	新井 一	業務執行理事、順天堂大学学長
副委員長	田平 武	順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学客員教授
委員	岡野 友宏	昭和大学名誉教授
	林 謙治	業務執行理事、国立保健医療科学院名誉院長
	平岡 眞寛	理事、日本赤十字社和歌山医療センター院長

### 4. 医療協力事業運営委員会－日中医療交流推進プロジェクトWG

（任期：2015 年 5 月 13 日～2017 年 3 月 31 日）

委員長	日比 紀文	業務執行理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター長
副委員長	五十嵐正広	がん研究会有明病院内視鏡診療部顧問
委員	小野 裕之	静岡県立静岡がんセンター副院長・内視鏡科部長
	落合 淳志	国立がん研究センター先端医療開発センター長
	田邊 聡	北里大学医学部新世紀医療開発センター低侵襲光学治療学教授
	八尾 隆志	順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学教授

九嶋 亮治 滋賀医科大学医学部臨床検査医学講座教授

5. 広報委員会（任期：2015年4月1日～2017年3月31日）

委員長	緒方 剛	評議員、茨城県土浦保健所所長／竜ヶ崎保健所所長
副委員長	山田 陽城	評議員、東京薬科大学薬学部特任教授
委員	飯塚 陽子	東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科特任講師
	上塚 芳郎	東京女子医科大学医学部医療・病院管理学教授
	小澤 邦壽	横浜市立大学非常勤講師
	新谷 誠康	東京歯科大学小児歯科学主任教授
	須並 英二	日本赤十字社医療センター大腸肛門外科部長
	高橋 和久	評議員、順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学教授
	範 江林	評議員、山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学教授
	輪湖 史子	日本看護協会国際部部長
担当理事	林 謙治	業務執行理事、国立保健医療科学院名誉院長

## 事業報告の明細

### ア 研究助成事業

#### 1. 日中笹川医学奨学金制度

2013年5月17日、日本財団尾形武寿理事長と中国国家衛生・計画生育委員会馬曉偉副主任により調印された「日中笹川医学協力プロジェクト協定」により「第4次日中笹川医学奨学金制度」としてスタートした。実施・運営は、当協会と笹川医学奨学金進修生同学会（以後、笹川同学会）が担う。

#### 1) 第38期研究者受入事業

##### (1) 来日

2015年7月14日からの募集及び2015年10月24日の選考を経て、第38期研究者25名が2016年4月12日に入国した（名簿後掲）。

##### (2) 歓迎式典の開催

開催日：2016年4月13日(木) 16:00～17:30

場 所：日本財団ビル A・B会議室

出席者：第38期研究者 25名

指導教官・中国大使館・日本財団・笹川記念保健協力財団・協会の役員・委員、笹川同学会等65名（中国から笹川同学会の王喜軍/副理事長・10期生、李忠金/秘書長・12期生、が出席した）

概 要：

高久史麿協会会長が研究者一人一人に本制度研究者認定書を授与した。翌日研究者は各自の研究先へ移動し、研究を開始した。

##### (3) 第28回研究者セミナーの開催

開催日：2016年10月13日(木)～16日(日)

場 所：ベルサール新宿グランド、箱根小涌園

出席者：第38期研究者25名、笹川同学会日本支部、協会職員

概 要：

今年の研究者セミナーは例年とは異なり、日中笹川医学奨学金制度30周年の行事の開催準備・運営協力を行った。14日午前中は、各々の専門領域の分科会に参加し、先端の発表を聞き、午後は記念行事・経験交流会に参加した。第38期生からは、行事に参加したことで本制度の歴史に触れ、多くの優秀な先輩と交流でき、同学会会員としての自覚を深め、自身の研究のモチベーションを上げることができた、との感想が寄せられた。15日は笹川同学会日本支部会員と箱根でセミナーを行った。第38期生が研究生生活の状況について各人発表し、日本支部会員からアドバイスを受けた。

#### (4) 研究報告会・研究修了式の開催

開催日：2017年3月28日(火) 11:00～19:30

場 所：日本財団ビル A会議室

出席者：第38期研究者25名

指導教官・日本財団・笹川記念保健協力財団・協会の役員・委員、笹川同学会日本支部等44名

概 要：

研究者一人一人が一年間の研究成果を発表した。活発な質疑応答と指導教官による講評が行われ、充実した報告会となった。研究者には研究発表の前に「日本での研修生活の感想」を日本語で発表してもらい、日本語が最も上達した者3名を出席者全員で選び、魏霞蔚（東京大学分子細胞生物学研究所）、羅蕾（静岡県立静岡がんセンター看護部）、張含鳳（広島大学大学院医歯薬保健学研究院老年・がん看護開発学）に日本語優秀賞が授与された。研究報告会終了後、引き続き研究修了式が行われ、小川秀興協会理事長が研究者一人一人に研究修了証を授与し、第38期研究者を代表して、兪芸（東京大学医学部附属病院肝胆膵外科）が日本語で謝辞を述べた。

研究者は研究修了式終了後、随時帰国した。

## 2) 第 39 期研究者募集及び選考

2017 年 4 月に来日する第 39 期研究者を選抜した。

### (1) 募集

第 39 期研究者の募集は、2016 年 1 月 13 日に中国国家衛生・計画生育委員会弁公庁名で中国各省衛生・計画生育委員会へ公布され、7 月末日まで行われた。

### (2) 選考

開催日：2016 年 8 月 27 日(土)

場 所：珀麗酒店（北京市）

選考員：

- |      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 田平 武 | 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクト WG 副委員長 |
| 平岡眞寛 | 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクト WG 委員   |
| 岡野友宏 | 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクト WG 委員   |
| 韓 晶岩 | 北京大学医学部教授（11 期笹川生）                   |
| 陳 欣  | 北京積水潭医院副教授（18 期笹川生）                  |

太田晶子事業担当、李高娃事業担当、李忠金同学会秘書長、呉久利同学会職員が同席した。

内 容：

申請者 41 名のうち、中国側書類選考（第一次選考）で選抜された 27 名が面接試験（第二次選考）を受験した。面接試験は、候補者が得意とする言語（英語または日本語）で行い、仕事/業績・成果等（20 点満点）、研究/目的の明確性、将来性等（20 点満点）、語学能力/聴力・会話力等（50 点満点）、協調性（10 点満点）で評価し、27 名を合格とした。合格者のうち 2 名が所属機関の都合で辞退したため、最終合格者は 25 名となった。

## (3) 来日前実施事業

### ① 日本語研修（同学会主催）

期 間：2016 年 11 月 1 日(火)～12 月 31 日(土)

場 所：中国医科大学外国語研修センター（遼寧省瀋陽市）

受講者：日本語未修者 23 名

### ② オリエンテーション（協会主催）

期 間：2016 年 12 月 22 日(木)

場 所：中国医科大学外国語研修センター（遼寧省瀋陽市）

概 要：協会職員の高娃事業担当が来日に向けての準備や日本滞在期間中の事項等についてオリエンテーションを行った。

## 3) 第五次制度のあり方検討

第五次制度は、2015 年 12 月に日本財団に初歩的構想を打診し、負託を受けて執行部（常任理事会等）において検討を進め、協会理事会に諮りつつ中国側との協議を重ね、2017 年 2 月 17 日に北京の人民大会堂に於いて、奨学金制度を含む「日中笹川医学奨学金制度プロジェクト」協定書の調印に至った。

(p.5「日中笹川医学協力プロジェクト協定書調印」参照)

## 2. 共同研究等助成事業

### 1) 2016 年度共同研究等助成金受給者

2016 年度は助成対象分野を「臨床医学・社会医学・歯学・看護」とした。

#### (1) 調査・共同研究助成 6 件

〈臨床医学系〉

- ① 李 予昕 日本大学医学部板橋病院先端心血管画像解析学分野助教

研究テーマ：「遺伝性高コレステロール血症ウサギにおける冠動脈不安定プラークに対する GLP-1 受容体作動薬の効果」

- 共同研究者：林 清飛  
福建省武夷山市立病院循環器内科部長・副院長
- ② 市丸 直嗣：大阪大学大学院医学系研究科先端移植基盤医療学准教授  
研究テーマ：「臓器保存液への非破壊的水素含有処理による臓器保存効果の検討」  
共同研究者：陳 剛  
華中科技大学同済医学院附属同済医院器官移植研究所教授
- ③ 岳 鳳鳴：信州大学学術研究院医学系組織発生学教室助教  
研究テーマ：「リプログラミングによるグリア芽腫由来癌幹細胞の創出と漢方薬選択」  
共同研究者：康 林  
河北医科大学解剖学教室准教授
- 〈社会医学系〉
- ④ 吉田 貴彦：旭川医科大学医学部教授・学長補佐  
研究テーマ：「慢性砒素中毒症状改善及び砒素関連発癌抑制に対する砒素曝露軽減効果の検証」  
共同研究者：皮 静波  
中国医科大学公共衛生学院院長、教授
- 〈歯学系〉
- ⑤ 岡村 裕彦 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔組織学分野准教授  
研究テーマ：「口腔内細菌 *P. endodontalis* による歯槽骨吸収とヒストン脱メチル化酵素 Jmjd3 の役割」  
共同研究者：楊 諦  
中国医科大学附属口腔医院牙体牙髓科講師
- 〈看護学系〉
- ⑥ 吉井 初美 東北大学大学院医学系研究科精神看護学分野准教授  
研究テーマ：「中国におけるがん患者家族のメンタルヘルスと不調関連要因の特定」
- 共同研究者：劉 風侠  
河北医科大学第四医院看護部副主任護師
- (2) 若手日本在留中国人研究者助成 2件  
〈臨床医学系〉
- ① 張 奕宙 広島大学大学院医歯薬保健学研究院消化器・代謝内科研究員  
研究テーマ：「小胞体ストレス応答を標的とした新規肝細胞癌治療薬の探索」  
指導責任者：茶山 一彰  
広島大学大学院医歯薬保健学研究院副学長、教授
- 〈歯学系〉
- ② 唐 佳 北海道医療大学歯学部う蝕制御治療学分野特別研究員  
研究テーマ：「Elucidation of the role of Nephronectin in the proliferation, differentiation and mineralization of odontoblast」  
指導責任者：斎藤 隆史  
北海道医療大学歯学部長・教授
- 2) 2017年度共同研究等助成金受給者選考  
2017年度は助成対象分野を「基礎医学・薬学」とした。
- (1) 調査・共同研究助成 6件  
共同研究等助成事業委員会の選考により、24件の応募の中から6件を採択した。
- 〈基礎医学系〉
- ① 原田 浩 京都大学放射線生物研究センターゲノム動態研究部門教授  
研究テーマ：「がんの放射線抵抗性を担う新規遺伝子ネットワークの作用機序解析と新規治療法確立への展開」  
共同研究者：朱 宇熹  
重慶医科大学附属第一医院腫瘍学准教授



- ② 王 繼揚 東京医科歯科大学難治疾患研究所  
免疫疾患分野特任講師  
研究テーマ：「習慣性流産の免疫学的病態の解  
明と新たな治療法の開発」  
共同研究者：杜 美蓉  
復旦大学婦産科医院研究所教授
- ③ 金山 朱里 昭和大学医学部生化学准教授  
研究テーマ：「膝疾患における TGF-β 誘導性  
分子 Hic5 の機能解析」  
共同研究者：付 文広  
西南医科大学附属病院肝胆外科  
副教授
- ④ 木山 博資 名古屋大学大学院医学系研究科  
機能組織学教授  
研究テーマ：「損傷神経再生過程における G 蛋白  
共役型受容体 (GPCR) の機能解析」  
共同研究者：余 華榮  
重慶医科大学基礎医学院教授

〈薬学系〉

- ⑤ 崔 翼龍 理化学研究所ライフサイエンス  
技術基盤研究センター  
分子動態イメージング研究ユニット  
ユニットリーダー  
研究テーマ：「抗疲勞漢方薬の有効成分の同定  
及びその作用機序の解析」  
共同研究者：李 峰  
北京中医薬大学中医学院教授
- ⑥ 清原 寛章 北里大学北里生命科学研究所  
和漢薬物学研究室教授  
研究テーマ：「中薬処方“補中益気湯”の粘膜  
免疫機能調節活性と作用成分の解明」  
共同研究者：姚 新生  
暨南大学薬学院名誉院長、中薬  
及天然薬物研究所所長

(2) 若手日本在留中国人研究者助成 2 件

共同研究等助成事業委員会の選考により、17  
件の応募の中から 2 件を採択した。

〈基礎医学系〉

- ① 安 健博 東京医科歯科大学難治疾患研究所  
分子病態分野助教  
研究テーマ：「Molecular pathogenesis of  
inflammatory bowel disease  
induced by overexpression  
of MKL1」  
指導責任者：木村 彰方  
東京医科歯科大学難治疾患研究  
所教授
- ② 黄 俊 大阪大学免疫学フロンティア  
研究センター特別研究員  
研究テーマ：「Role of Mbd3 in regulatory  
T cell development:  
its underlying mechanism  
and implication for the  
establishment of immune  
homeostasis」  
指導責任者：坂口 志文  
大阪大学免疫学フロンティア研  
究センター特任教授

3. 中国人医師・研究者招聘事業

1) 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プ  
ロジェクト

概要：

中国の病院の内視鏡専門医と病理専門医  
がペアで来日し、日本で研修することによ  
り、先進医療技術及び消化器内視鏡専門医  
と病理専門医の緊密な連携に関する理念と  
実践を理解し、中国における実践に活かし、  
消化器早期がん診断能力向上に寄与し、両  
国の当該分野における交流と協力を促進す  
ることを目的とする。

実施団体：日中医学協会、中国国家衛生・計画生  
育委員会国際交流センター

協会と中国国家衛生・計画生育委員会国  
際交流センターとの間で 2015 年 10 月 22 日  
締結された第 2 期～第 5 期協定書に基づき、

第3期生～第4期生を招請した。

① 第3期生招請

期 間：2016年11月16日(水)～12月16日(金)

研修生：7病院14名(名簿後掲)

研修先：順天堂大学医学部附属順天堂医院、  
静岡県立静岡がんセンター、北里大  
学病院、東邦大学医療センター大森  
病院、がん研究会有明病院

② 第4期生招請

期 間：2017年2月22日(水)～3月24日(金)

研修生：6病院12名(名簿後掲)

研修先：順天堂大学医学部附属順天堂医院、  
東京慈恵会医科大学、自治医科大学  
病院、東邦大学医療センター大森病院

## イ 学術会議開催事業

### 1. 主催・主管・協力事業

#### 1) 日中医学交流会議：日中笹川医学奨学金制度 30周年記念講演

2016年10月14日、ベルサール新宿グラウンド  
に於いて日中笹川医学奨学金制度30周年記念  
講演を開催し、魏于全中国科学院院士・四川大  
学副学長(第8期笹川生)、岡野栄之慶應義塾  
大学医学部長・生理学教授にご講演いただいた。  
(p.1「日中笹川医学奨学金制度30周年記念事業」  
参照)

#### 2) 第3回日中医学交流フォーラム

日中医学交流フォーラムは、協会、中華医学  
会、天津武田薬品有限公司が協力し、毎年日本  
と中国で開催するフォーラムで、今回の開催は  
3回目である。今回のフォーラムは、婦人科と  
消化器の2つの分野に焦点を置き、開催した。

##### (1) 婦人科フォーラム

開催日：2016年9月21日(水) 15:00～17:00

場 所：リーガロイヤルホテル大阪

主 催：日中医学協会

協 力：中華医学会、天津武田薬品有限公司

参加者：中国人専門家9名、日本人専門家7名

概 要：第5回アジア子宮内膜症会議(ACE2016)

開催に合わせて「子宮内膜症」をテー  
マに開催され、日本側専門家7名、中  
国側専門家9名が参加し、活発な意見  
交換が行われた。中国側演者及び専門  
家の中に日本留学経験者が多数おり、  
フォーラム終了後も日中専門家同士の  
交流が行われた。

開会挨拶：原田 省 鳥取大学医学部女性診療科  
群教授

座 長：星合 昊 協会監事、大阪府済生会富  
田林医療福祉センター総長

張 信美 浙江大学医学院附属産婦人  
科医院教授

演 者：冷 金花 首都医科大学附属北京協和  
医院婦科教授

「中国の子宮内膜症の診療の現状」

甲賀かおり 東京大学医学部産婦人科准  
教授

「日本の子宮内膜症の診療の現状」

奈須家栄 大分大学医学部おおいた地  
域医療支援システム構築事  
業・産婦人科分野教授

「子宮内膜症の再発のメカニズム」

北脇 城 京都府立医科大学産婦人科  
教授

「長期的視点から子宮内膜症関連の骨盤  
の痛みを軽減する方法について」

周 応芳 北京大学第一医院産婦人科  
教授

「子宮内膜症の予防と再発管理」

ディスカッサント：

谷口文紀 鳥取大学医学部女性診療科  
群准教授

カーン・カレク (Khaleque KHAN)  
京都府立医科大学産婦人科  
学准教授

## (2) 消化器フォーラム

開催日：2016年9月22日(木) 13:30~16:00

場 所：蘇州国際博覧センター

主 催：中華医学会

協 力：日中医学協会、天津武田薬品有限公司

参加者：約120名（日本人専門家2名を含む）

概 要：中華医学会第16回全国消化器病学会  
議における日中サテライトシンポジウ  
ムとして「消化性潰瘍」をテーマに開  
催された。

座 長：加藤元嗣 国立病院機構函館病院院長

韓 英 北京軍区総医院消化内科  
主任

演 者：加藤元嗣 国立病院機構函館病院院長

「日本の高齢者社会と薬物性潰瘍の診断  
治療の現状について」

袁 耀宗 上海交通大学医学院附属瑞  
金医院消化内科主任医師

「中国消化性潰瘍の診断治療の現状につ  
いて」

呂 農華 南昌大学第一附属医院副院  
長、消化内科主任医師

「中国ピロリ菌除去の現状」

村上和成 大分大学医学部・医学研究  
科消化器内科学教授

「ピロリ菌除去と胃がんについて（京都  
国際コンセンサスを中心に）」

ディスカッサント：

呉 開春 西京医院消化器内科主任医  
師、教授

陸 紅 上海交通大学医学院附属仁  
済南医院消化器内科教授

陳 燁 広州南方医院主任医師、  
教授

## 3) 日中子宮内膜症交流サミット

日本で開催された上記2)-(1)「第3回日中医  
学交流フォーラム：婦人科」の内容を中国の若  
手医師に広く知ってもらい、中国の子宮内膜症  
診断治療水準の向上に資することを目的に開催  
された。

開催日：2016年10月22日(土) 09:00~13:00

場 所：長富宮飯店（北京市）

主 催：天津武田薬品有限公司

協 力：日中医学協会

参加者：北京市周辺病院の若手医師 約150名

オンライン会場3カ所 約300名

日本側専門家 4名

概 要：日中各1名の座長と、日本側3名、中  
国側2名の演者により行われた。パネ  
ルディスカッションでは、オンライン  
で繋いだ上海・寧波・杭州の各会場計  
約300名からも多数の質問が寄せられ、  
充実したフォーラムとなった。

座 長：星合 昊 協会監事、大阪府済生会富  
田林医療福祉センター総長

周 応芳 北京大学第一医院産婦人科  
教授  
演 者：甲賀かおり 東京大学医学部産婦人科准  
准教授

「The current diagnosis and treatment status  
of EM in Japan」

姚 書忠 中山大学附属第一医院産婦  
人科教授

「The current diagnosis and treatment status  
of EM in China」

奈須家栄 大分大学医学部おおいだ地  
域医療支援システム構築事  
業・産婦人科分野教授

「Recurrence of endometriosis : Mechanism  
and EBM」

周 応芳 北京大学第一医院産婦人科  
教授

「The DIE operation show and perioperative  
period management」

カーン・カレク (Khaleque KHAN)  
京都府立医科大学産婦人科  
学准教授

「Subsequent treatment for the patients with  
endometriosis recurrence」

(p.1「日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業」  
参照)

## 2) 2016 年度医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2016 年 8 月 3 日(水)～7 日(日)

場 所：里湯昔話 雄山荘 (滋賀県大津市)

主 催：小太郎漢方製薬株式会社

後 援：日中医学協会、日本 TCM 研究所、  
天津中医学院

参加者：講演者 12 名、受講生 27 名

## 3) 中医学講座シリーズ

開催日：2016 年 7 月 6 日(水)、8 月 24 日(水)、  
10 月 19 日(水)

場 所：東京中国文化センター

主 催：東京中国文化センター、天津市中医薬  
研究院、中外文化交流センター、精誠  
堂鍼灸治療院

協 力：天津市中医腎病研究所、上海中医薬大学

後 援：日中医学協会、中国駐日本国大使館、  
日中協会、日中友好会館、NPO 法人日  
中医学交流センター

参加者：講演者各回 1 名、参加者延べ 250 名

## 2. 共催・後援事業

### 1) 日中医学学術交流大会 2016 東京：日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業

2016 年 10 月 14 日、ベルサール新宿グランドに於いて、日中笹川医学奨学金進修生同学会と共催で、日中医学学術交流大会 2016 東京を開催した。本大会は笹川同学会が日中医学協会と共催し、毎年中国国内で開催している学術交流会を日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念式典開催に合わせて日本で開催したものである。今回は分科会形式で行われ、それぞれの領域のリーダーとなっている同学会会員が講演を行い、「看護学」と「伝統医学」の分科会では、日本人専門家にも講演していただいた。

## ウ 医療協力事業

### 1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業（笹川同学会事業）

#### 1) 中国国内研修事業

##### (1) 短期総合診療研修

期 間：2016年8月28日(日)～9月23日(金)

場 所：中国医科大学（遼寧省瀋陽市）

実施責任者：

許 順 中国医科大学第一附属医院胸部外科教授（15期生）

受講者：14名

海南省、雲南省、四川省、河南省、湖北省、重慶市、寧夏回族自治区の県レベルの病院・社区卫生サービスセンター等に勤務する医師

研修内容：

「全科医学」（于曉松編）に沿った座学及びフィールドワーク

専門家派遣：

江藤一洋 協会業務執行理事、医療協力事業運営委員会委員長（アジアデンタルフォーラム理事長）が9月5日(月)～7日(水)の日程で訪問し、事業評価を行った。太田晶子事業担当が同行した。

事業評価：

教材も教師陣も完備されているが、受講者の研修での成果がもっと目に見えるものにする工夫が必要ではないか。例えば、継続教育の点数が取得できるような体制を組むことを検討してはどうか。

##### (2) 短期診療技術・技能研修

###### ・呼吸器疾患研修

期 間：2016年8月1日(月)～19日(金)

場 所：中日友好医院（北京市）

実施責任者：

王玉華 中日友好医院弁公室職員

受講者：15名

陝西省、山西省、甘肅省、青海省、吉林省、

黒竜江省、新疆ウイグル自治区の県レベルの病院に勤務する医師

研修内容：

講義、カンファレンス、臨床実習、参観等を実施

専門家派遣：

中島淳 東京大学大学院医学系研究科呼吸器外科学教授が8月1日(月)～3日(水)の日程で訪問し、講演を行った。金粉花職員が同行した。

講演：

「原発性肺癌に対する診断と治療の現況」

###### ・老年介護実用技術研修

期 間：2016年9月5日(月)～23日(金)

場 所：四川大学華西医院（四川省成都市）

実施責任者：

胡秀英 四川大学華西医院護理部主任（20期生）

受講者：14名

雲南省、海南省、河北省、四川省、内モンゴル自治区、湖北省、河北省、江西省、広西チワン族自治区に勤務する医師

研修内容：

老年看護全般に関する講義及び病棟実習

専門家派遣：

田平 武 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクト WG 副委員長（順天堂大学大学院客員教授）が9月8日(木)～11日(日)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。李高娃事業担当が同行した。

講演テーマ：

「認知症の行動心理症状（BPSD）への対応」

事業評価：

四川大学華西医院老年医学センターは、全国老年医学病院ランキング第4位の施設である。当該センターにおける一番の問題点は、センターで急病治療を行っても、病状回復後の中間療養施設が不足していることで、当該センターをはじめとする三級甲病院で療養す

ると、その費用はほぼ保険でカバーできるため、患者本人及び患者家族は、転院や帰宅を希望しないという実情がある。研修についての問題点：老年介護研修は3週間にわたって行われたが、その内、病室実習は最終日の一日のみで、それ以外は全て講義であったので実習をもう少し増やしたほうが良いと思う。

#### ・ 児童青少年健康管理技術研修

期 間：2016年9月12日(月)～16日(金)

場 所：北京大学児童青少年衛生研究所  
(北京市)

実施責任者：

馬迎華 北京大学児童青少年研究所副所長  
(23期生)

受講者：9名

天津、甘肅省、新疆ウイグル自治区、青海省、江西省、黒龍江省の疾病コントロールセンター、精神疾病領域の医療に従事する医療関係者

研修内容：

学校保健にかかる講義

専門家派遣：

亀崎路子 杏林大学保健学部教授が9月11日(日)～13日(火)の日程で訪問し、講演を行った。太田晶子事業担当が同行した。

講演テーマ：

「日本の学校保健における児童青少年の心の健康づくり」

#### ・ 口腔実用技術研修

期 間：2016年9月19日(月)～30日(金)

場 所：四川大学華西口腔医学院(成都市)

実施責任者：

黄定明 四川大学華西口腔医学院教授  
(23期生)

受講者：10名

河南省、河北省、陝西省、内モンゴル口腔領域の医療に従事する医療関係者

研修内容：

外科抜歯、歯体歯髄等の新技術、院内感染に関する座学及び実習

専門家派遣：

岡野友宏 協会医療協力事業運営委員会  
一日中笹川医学協力プロジェクト WG 委員  
(昭和大名名誉教授)が9月18日(月)～20日(水)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。李高娃事業担当が同行した。

講演テーマ：

「歯科医療における放射線：線量・人体影響・そして被曝低減」

事業評価：

四川大学華西口腔医院で開催されたこの研修は今年4年目である。日本人専門家として受講者への講演をこれまでも行ってきたが、今年はスライドに中国語を併記し、通訳の事前打合せも行ったので、講演が比較的スムーズであった。研修内容は歯科の基本から最近の新しい治療法までを含んでおり、講義だけではなく実習も行うので、短期間ではあるが非常に内容の優れたものである。二級病院の先生方には初めて見聞きするものも多いに違いない。実習があるので募集人員を絞っているようだが、折角の機会なので、もう少し定員を増やしてもいいのではないかと感じた。

#### ・ 腹腔鏡実用技術研修

期 間：2016年10月31日(月)～11月4日(金)

場 所：吉林大学中日聯誼医院(長春市)

実施責任者：

孫立波 吉林大学中日聯誼医院教授  
(19期生)

受講者：9名

黒龍江省、遼寧省、河北省の二級病院に勤務する医師

研修内容：

モデルを用いた腹腔鏡手術の基本技能訓練、講義、手術見学

専門家派遣：

江藤一洋 協会医療協力事業運営委員会

委員長（アジアデンタルフォーラム理事長）が11月1日(日)～3日(火)の日程で訪問し、事業評価を行った。太田晶子事業担当が同行した。

事業評価：

吉林大学（元白求恩医科大学）は古くから日本との交流の歴史が深い大学であり、知日人材が多数いることからこの地で研修を行うことは非常に意義深いことであると考えられる。開講式後に講演を行った教授4名の内、3名が日本留学組であることから、「日本式」の医療が根付く環境は充分にあると考えられる。研修設備も整っているため、今後も人材・設備を活用していくべきである。

・公立病院院長職業化研修

期 間：2016年6月26日(月)～7月1日(金)

場 所：唐都飯店（陝西省西安市）

実施責任者：

宋 冰 中国国家衛生計生委能力建設・  
継続教育センター

受講者：102名

中国全国の三級乙病院の院長、副院長

専門家派遣：

長英一郎 東日本税理士法人代表社員

講 演：「日本の医療管理状況」

概 要：

薬品集中購入、インターン規範の策定、病院戦略、マスコミ対応等の多岐に渉る内容について講義形式で行われた。日本の専門家に求められた講義は日本の病院経営管理指標で、日本の病院の利益率、人員配置、人件費率等に多くの質問が集中した。

2) ボランティア診療

(1) 陝西ボランティア診療

実施日：2016年10月30日(日)

場 所：陝西省扶風県人民医院

実施責任者：

張 軍 西安交通大学医学院第二附属医院  
教授（11期生）

李国棟 西安交通大学外語学院日本語系  
副教授（16期生）

参加者：

約140名（診療受診者 約80名 受講者  
約60名）、笹川同学会会員3名

概 要：

張軍地区責任者がリーダーとなり、同学会会員以外の医師も伴って、ボランティア診療と医療従事者向けの講演を行った。講演の後で、各々の専門に分かれ、病棟回診を実施し、姚徳茂医師は患者の術後処置を行った。

(2) 日本支部健康講座・相談会

開催日：2017年2月5日(日) 13:30～16:00

場 所：明石市アスパア

実施責任者：

呉小玉 兵庫県立大学地域ケア開発研究所  
教授（21期生）

参加者：108名

中国残留邦人・残留婦人とその家族を主とする在留外国人、ボランティア看護師等

講 師：

袁世華 日本支部長・杏林中医薬情報研究所  
所長（2期生）

健康相談員：

謝海棠 徳州会東京西病院副看護部長

（21期生）※日本の看護師免許保有

程紹華 三重大学医学部附属病院医師

（23期生）※日本の医師免許保有

概 要：

兵庫県立大学地域ケア開発研究所は、毎月在日外国人の健康を支援する「国際まちの保健室」を実施している。2017年2月実施の「国際まちの保健室」は、明石市市役所から業務委託されている「中国残留日本人孤児を支援する兵庫の会」の依頼により中国語による健康教育講座及び中国人医師・看護師によ

る健康相談を行い、日本支部がこれに協力した。岡田光子協会事務局次長が同席した。

### 3) 学術交流会の開催

開催日：2016年10月14日(金) 09:30~11:30

場 所：ベルサール新宿グランド

参加者：笹川同学会会員 307名、日本人専門家  
4名

概 要：

笹川同学会が毎年中国国内で開催している学術交流会を、日中笹川医学奨学金制度30周年記念式典開催に合わせ、今年は「日中医学学術交流大会2016東京」と題し、日本で開催した。今回は分科会形式で行われ、それぞれの領域のリーダーとなっている同学会会員が講演を行い、「看護学」と「伝統医学」の分科会では日本人専門家にもご講演いただいた。(p.1「日中笹川医学奨学金制度30周年記念事業」参照)

### 4) 支部交流会の開催

#### (1) 華東支部交流会

開催日：2016年5月14日(土)

場 所：江蘇太湖国際飯店(江蘇省無錫市)

実施責任者：

戴豪良 上海復旦大学中山医院主任  
(3期生)

孫 偉 江蘇省中医医院教授(18期生)

参加者：上海、江蘇省、浙江省の同学会会員  
62名

専門家派遣：

山田陽城 協会評議員、広報委員会副委員長(東京薬科大学薬学部特任教授)が参加し、事業評価を行った。太田晶子事業担当が同行した。

概 要：

戴豪良(3期生)、殷猛(27期生)、孫海晨(26期生)がそれぞれ講演を行った後、今後の笹川医学奨学金制度のあり方について会員相互で意見交換を行った。

#### (2) 華南支部交流会

開催日：2016年6月18日(土)

場 所：通程国際大飯店(江蘇省長沙市)

実施責任者：

李永国 湖南旺旺医院院長(1期生)

参加者：湖南省、湖北省、安徽省の同学会会員  
21名

専門家派遣：

岡野友宏 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクトWG委員(昭和大学名誉教授)が参加し、事業評価を行った。茅野芽衣子職員が同行した。

概 要：

蘇海(1期生)、李永国(1期生)が講演を行った。

#### (3) 北京支部交流会

開催日：2016年7月2日(土)

場 所：北京唯実酒店(北京市)

実施責任者：

韓晶岩 北京大学基礎医学院教授(9期生)

参加者：北京地区の同学会会員35名

専門家派遣：

林謙治 協会業務執行理事(国立保健医療科学院名誉院長)が参加し、事業評価を行った。末原珠生職員が同行した。

概 要：

李平(11期生)、韓晶岩(9期生)が講演を行い、活発な質疑応答が行われた。

#### (4) 吉林支部交流会

開催日：2016年7月9日(土)

場 所：延辺国際飯店(吉林省延辺市)

実施責任者：

裴海成 成濟門診院長(6期生)

参加者：吉林省の同学会会員40名

専門家派遣：

範江林 協会評議員、広報委員会委員(山梨大学医学部教授)が参加し、事業評価を行った。岡田光子事務局次長が同行した。



概要：

趙樹華（4期生）、康熙雄（20期生）、呉龍仁（20期）がそれぞれ講演を行い、活発な質疑応答が行われた。

#### (5) 広東支部交流会

開催日：2016年8月20日(土)

場所：亜州国際大飯店（広東省広州市）

実施責任者：

王甲東 中山大学家庭医生雑誌社教授  
（1期生）

参加者：

広東省・広西チワン自治区の同学会会員、  
日本国駐広州総領事館総領事、元広東省衛生庁副庁長、元広州市副市長等30名

専門家派遣：

江藤一洋 協会業務執行理事、医療協力事業運営委員会委員長（アジアデンタルフォーラム理事長）が参加し事業評価を行った。岡田光子事務局次長が同行した。

概要：

「医師の多点執業」をテーマに、王智琼元広東省衛生庁副庁長、丘勇超（5期生）、曹双権深圳市都安全健康産業投資有限公司広州地区經理、徐武華（26期生）、陳国奮（26期生）がそれぞれ講演を行った。討論においては、専門に係わらず参加者全員が一つのテーマで活発に意見交換を行った。

#### (6) 陝西・山西支部交流会

開催日：2016年10月29日(土)

場所：西安建国飯店（陝西省西安市）

実施責任者：

李国棟 西安交通大学外語学院日本語系副教授（16期生）

参加者：陝西省・山西省の同学会会員17名他

専門家派遣：

星合昊 協会監事（大阪府済生会富田林医療福祉センター総長）が参加し、事業評価を行った。李高娃事業担当が同行した。

概要：

「心身健康と疾病予防」をテーマに、施旺紅（24期生）、王安輝（30期生）、王鈞（30期生）、葉春峰（16期生）が講演を行い、活発な質疑応答が行われた。

#### (7) 天津・河北支部交流会

開催日：2016年11月5日(土)

場所：天津帝旺凱悦酒店（天津市）

実施責任者：

孟召偉 天津医科大学総医院核医学  
（第30期生）

参加者：天津、河北省の同学会会員等30名

専門家派遣：

小野喜志雄 協会監事（国際医療福祉大学大学院教授）が参加し、事業評価を行った。岡田光子事務局次長が同行した。

概要：

小野喜志雄協会監事が「日本の医療システムの課題」と題して、10月14日に東京で開催された笹川医学奨学金制度30周年記念式典での小川秀興協会理事長の基調報告を基に、第5次奨学金制度の内容及び今後の共同研究を考える上で日本が抱える保健医療上の課題等を紹介し、日中両国の共同研究が進むことの期待感等を話した。その後、田素斎（22期生）、張軍平（22期生）、常宝成（27期生）が講演した。

#### (8) 日本支部交流会・総会

開催日：2017年3月4日(土) 14:00~16:00

場所：ビジョンセンター東京

実施責任者：

袁世華 日本支部長、杏林中医薬情報研究所所長（2期生）

参加者：日本在住同学会会員28名、協会職員3名

概要：

趙松吉（19期生）が「震災後の福島の医療事情」について講演を行った。引き続き支

部総会が行われ、役員体制、2017年度事業計画等について協議した。

## 5) 同学会事業監査

### (1) 2015年度事業監査

実施日：2016年4月27日(水)

場 所：笹川同学会北京事務所

監査人：本田伸吾 協会事務局長

出席者：李忠金 同学会秘書長

呉久利 同学会会計担当

陳 怡 同学会会計担当

宋 洋 同学会会計担当

概 要：

2015年度4月～9月期の中間監査（2015年11月24日実施）結果を踏まえて、2015年度の会計監査を行った。

対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

「日中笹川医学協力プロジェクト実施要綱」、「日中笹川医学協力プロジェクト事業別実施要領」、「笹川医学奨学金進修生同学会に対する事業費送金及び精算に関する覚書」に基づき、証憑書類及びその支出一覧表の照合を実施した。

監査結果：

2015年度笹川同学会事業の会計決算は、概ね違反事項はなかった。

### (2) 2016年度事業中間監査

実施日：2017年1月10日(火)

場 所：笹川同学会北京事務所

監査人：本田伸吾 協会事務局長

出席者：李忠金 同学会秘書長

呉久利 同学会会計担当

宋 洋 同学会会計担当

概 要：

2015年度会計監査（2016年4月27日）結果を踏まえて、2016年度の中間会計監査を行った。

対象期間：2016年4月1日～2016年9月30日

「日中笹川医学協力プロジェクト実施要

綱」、「日中笹川医学協力プロジェクト事業別実施要領」、「笹川医学奨学金進修生同学会に対する事業費送金及び精算に関する覚書」に基づき、証憑書類及びその支出一覧表の照合を実施した。

監査結果：

2016年度笹川同学会事業の会計中間決算は、概ね違反事項はなかった。

## 2. 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）

### 1) 日本留学経験者ネットワークの拡充

（笹川同学会ネットワークとのリンク）

### 2) 日本式医療の拠点化に向けた事業性調査

（経済産業省の事業等）

飯塚陽子 東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科特任講師と「生活習慣病の予防と治療に関する日本式医療試行プログラム」の可能性を検討中である。

## 3. 専門家派遣事業

### 1) 日中笹川医学協力プロジェクトに係わる専門家の派遣（p.19～23 参照）

### 2) 第3回日中医学交流フォーラムへの専門家派遣（p.16～17 参照）

### 3) 日中子宮内膜症交流サミットへの専門家派遣（p.17 参照）

### 4) 公立病院医院長職業化研修への専門家派遣（p.21 参照）

### 5) 中華医学会2017年学術年会への専門家派遣

日 時：2017年1月14日(土)

場 所：南京紫金山莊会議センター

被派遣者：飯塚陽子 東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科特任講師

概要：

中国国家衛生・計画生育委員会の指導者、中華医学会と専門学会の役員、世界医学会、米国医学会等海外医学関係者等約 1,000 名が参加し、賀福初中国科学院院士、樊代明中国工程院院士、米国医学会会長等の講演が行われた。年会参加を通じて、腎臓病学会会長、糖尿病学会会長等多くの専門家及び香港等医学会関係者と交流した。午後は南京鼓楼医院と賽虹桥社区服務中心を訪問し、地域医療の取組みについて見学した。

#### 4. 医療関連訪日団招請事業

##### 1) 医療関連訪日団の招請

2016 年度は、12 件の訪日団の招請や病院視察等の手配を行った。

##### (1) 中国病院薬剤関係者訪日団招請

目的：日本の病院薬剤部のリスクマネジメントの視察及び日本の専門家との交流

期間：2016 年 4 月 19 日(火)～23 日(土)

訪問先：国立国際医療研究センター病院、杏林大学医学部付属病院

訪日者：徐 進 南京市儿童医院薬剤科主任ら 14 名

##### (2) 第 75 回日本医学放射線学会総会参加訪日団招請

目的：第 75 回日本医学放射線学会総会及び付設展示会 2016 国際医用画像総合展への参加

期間：2016 年 4 月中旬

訪日者：金征宇 中国医学科学院北京協和医院放射線科主任ら 12 名

##### (3) 陽子線治療施設視察団招請

目的：中国国内に陽子線治療施設建設のための視察

期間：2016 年 5 月 11 日(木)

訪問先：静岡県立静岡がんセンター

訪日者：吳曉東 江蘇省常州市高新区党工委書記ら 3 名

##### (4) 中国整形外科専門家訪日団招請

目的：第 89 回日本整形外科学会学術総会への参加

期間：2016 年 5 月 11 日(水)～15 日(日)

訪日者：李 智 広州軍区武漢陸軍総医院骨科副主任医師ら 11 名

##### (5) 第 66 回日本病院学会参加訪日団招請

目的：第 66 回日本病院学会への参加及び病院視察

期間：2016 年 6 月 22 日(水)～26 日(日)

訪日者：李興華 唐山弘慈医院院長ら 9 名

##### (6) 病院検査科訪日団招請

目的：第 32 回世界医学検査学会への参加

期間：2016 年 8 月 30 日(火)～9 月 5 日(月)

訪日者：侯鉄英 広東省人民医院検査科部長ら 9 名

##### (7) 「2016 日中薬品安全論壇」訪日団招請

目的：日本の薬品安全管理を学ぶ

期間：2016 年 9 月 17 日(土)～21 日(水)

訪問先：国立国際医療センター病院

訪日者：封衛毅 西安交通大学附属第一医院薬剤部部長ら 10 名

##### (8) 病院検査科訪日団招請

目的：第 48 回日本臨床検査自動化学会への参加

期間：2016 年 9 月 19 日(月)～24 日(土)

訪日者：鄒偉民 広東省人民医院/広東省臨床検査センター検査科教授ら 12 名

##### (9) 第 33 回 ISQua 国際学術総会参加訪日団招請

目的：第 33 回 ISQua 国際学術総会への参加及び病院参観

期間：2016 年 10 月 16 日(日)～20 日(木)

訪問先：三井記念病院、東邦大学医療センター大森病院  
訪日者：趙小英 浙江大学医学院附属第二医院常務副院長ら 12 名

**(10) 第 13 回 DIA 日本年会参加訪日団招請**

目的：第 13 回 DIA 日本年会への参加  
期間：2016 年 11 月 12 日(土)～16 日(水)  
訪日者：吳 暉 昆明医科大学第一附属医院薬剤科主任ら 12 名

**(11) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン、科学技術振興機構事業）**

目的：アジア諸国から約 2,000 人の 40 歳以下の青少年を短期に招聘し、科学技術分野における交流と理解を深める。  
期間：2016 年 12 月 4 日(日)～10 日(土)

訪問先：東京大学医学部附属病院、杏林大学医学部附属病院腎・透析センター、朝日生命成人病研究所・附属病院、東京女子医科大学糖尿病センター・先端医科学研究所、テルモメディカルプラネックス、静岡県立静岡がんセンター

講演：安達 勇 日中医学協会副会長  
「日本の医療システムや医療保険制度について」

訪日者：山東省内分泌与代謝病研究所及び附属病院所属の医療従事者 8 名

**(12) 長春中医薬大学訪日団招請**

目的：日本の先端医療を学ぶ  
期間：2017 年 2 月 17 日(金)  
訪問先：山王メディカルセンター  
訪日者：叢徳毓 長春中医薬大学附属医院院長ら 4 名

**2) 中国人医療関係者招請・研修**

2016 年度は、7 件の訪日者の視察・研修・セミナー参加等の手配を行った。

**(1) 中日友好医院派遣医師招請**

目的：第 116 回日本臨床外科学会定期学術集会への参加  
期間：2016 年 4 月 13 日(水)～17 日(日)  
訪日者：姚 力 中日友好医院普外四科副主任

**(2) 新疆ウイグル自治区人民医院派遣医師招請**

目的：第 113 回日本内科学会への参加  
期間：2016 年 4 月 14 日(木)～18 日(月)  
訪日者：蓓里・加帕爾 新疆ウイグル自治区人民医院幹部保健三科主任医師

**(3) 中日友好医院派遣医師招請**

目的：第 19 回国際細胞学会議への参加  
期間：2016 年 5 月 27 日(金)～31 日(火)  
訪日者：笄 冀平 中日友好医院病理科主任

**(4) 清華大学玉泉医院派遣職員招請**

目的：第 7 回世界頭蓋底外科学会連盟国際会議への参加  
期間：2016 年 6 月 14 日(火)～17 日(金)  
訪日者：于殿文 清華大学玉泉医院弁公室主任

**(5) 上海市東方医院派遣医師招請**

目的：高齢者の肝疾患に関する臨床診断治療の視察  
期間：2016 年 7 月 16 日(土)～20 日(水)  
訪日者：江 華 上海市東方医院老年医学科主任

**(6) 中日友好医院派遣医師招請**

目的：第 14 回日本消化器外科学会大会への参加  
期間：2016 年 11 月 2 日(水)～6 日(日)  
訪日者：姚 力 中日友好医院普外四科副主任

**(7) 蘇州市立医院派遣医師招請**

目的：昭和大学医学部附属病院視察  
期間：2017 年 2 月 24 日(金)～28 日(火)  
訪日者：洪志成 蘇州市立医院院長

## 5. 訪中団派遣事業

今年度は、専門家派遣事業（p. 24 参照）のみ実施した。

## 6. 日中医学協会への表敬訪問

### 1) 浙江省衛生・計画生育委員会

訪問日：2016年11月22日(火) 15:00～16:00

訪問者：姜建鴻 浙江省衛生・計画生育委員会  
副主任ら6名

応対者：安達 勇 副会長・理事

### 2) 吉林大学基礎医学院

訪問日：2017年2月14日(火) 14:30～15:30

訪問者：孫連坤 吉林大学基礎医学院院長（病  
理生理学系教授）ら4名

応対者：小川秀興 理事長

### 3) 中日友好医院

訪問日：2017年2月23日(木) 15:00～15:30

訪問者：彭明強 中日友好医院副院長ら8名

応対者：小川秀興 理事長

## エ 広報事業

### 1. 機関誌『日中医学』の発行

機関誌『日中医学』第31巻1～4号を以下の通り発行した。

第1号（2016年5月発行）

特集：「日中における人工関節の現状と課題」

第2号（2016年8月発行）

特集：「日中における循環器疾患の現状」

第3号（2016年11月発行）

特集：「日中の災害医療」

第4号（2017年3月発行）

特集：「日中笹川医学奨学金制度30周年記念事業」

### 2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行

機関紙『NEWS LETTER』No.39～No.41を以下の通り発行した。

No.39（2016年4月発行）

記事：巻頭言「日中医学協会2016年度を迎えて」他

No.40（2016年11月発行）

記事：巻頭言「日中笹川医学奨学金制度30周年記念行事を終えて」他

No.41（2017年3月発行）

記事：巻頭言「第3回日中医学交流フォーラム・日中子宮内膜症交流サミットを終えて」他

### 3. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力

Sponsoring Organizationとして協力した。

### 4. ホームページの拡充

2017年度全面リニューアルを目指し、広報委員会において内容の検討を開始した。

## 委員会開催報告

### 1. 共同研究等助成事業委員会

#### 1) 第1回委員会

日 時：2017年2月28日(火) 16:00～17:00

場 所：日中医学協会事務所会議室

出席者：委員6名、委任状出席2名

議 案：

- ① 2017年度調査・共同研究助成金受給者選考
- ② 2017年度若手在留中国人研究者助成金受給者選考

### 2. 医療協力事業運営委員会

#### －日中笹川医学協カプロジェクトWG

#### 1) 第1回WG

日 時：2017年3月3日(金) 17:00～18:30

場 所：日中医学協会事務所会議室

出席者：委員4名、委任状出席1名

議 案：

- ① 2016年度事業報告（日中笹川医学奨学金制度、笹川同学会事業）
- ② 2017年度事業計画（日中笹川医学奨学金制度、笹川同学会事業）

### 3. 医療協力事業運営委員会

#### －日中医療交流推進プロジェクトWG

#### 1) 第1回WG

日 時：2016年6月21日(火) 18:00～19:30

場 所：日中医学協会事務所会議室

出席者：委員6名、委任状出席1名

議 案：

- ① 日中消化器内視鏡診断治療・病理合同研修プロジェクト第2期研修報告
- ② 同プロジェクト第3期研修医選考

#### 2) 第2回WG

日 時：2016年9月28日(水) 18:30～19:30

場 所：日中医学協会事務所会議室

出席者：委員5名、委任状出席2名

議 案：

- ① 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第3期研修報告
- ② 同プロジェクト第4期、第5期研修医選考
- ③ 同プロジェクト第5期終了後について
- ④ 委員の増員について

#### 3) 第3回WG

日 時：2017年2月13日(月) 18:00～19:30

場 所：日中医学協会事務所会議室

出席者：委員6名、委任状出席1名

議 案：

- ① 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第4期研修報告
- ② 同プロジェクト第5期研修医受入施設の拡大について
- ③ 同プロジェクト第2次について
- ④ 同プロジェクト成果報告会（北京）について

### 4. 広報委員会

#### 1) 第1回委員会

日 時：2016年4月19日(火) 18:30～20:30

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員6名、委任状出席4名、林謙治業務執行理事（担当理事）

議 案：

- ① 『日中医学』Vol.31 No.4「特集：日中笹川医学奨学金制度30周年事業」掲載内容について
- ② 『日中医学』Vol.32 特集テーマ選定及び掲載記事（コラム）の検討
- ③ 『日中医学』頒布価格について
- ④ 『NEWS LETTER』の今後のあり方について
- ⑤ 情報発信のあり方（ホームページの拡充等）

#### 2) 第2回委員会

日 時：2016年8月19日(金) 18:00～20:00

場 所：学士会館

出席者：委員 6 名、委任状出席 4 名、林謙治業  
務執行理事（担当理事）

議 案：

- ① 『日中医学』 Vol. 31 No. 4 「特集：日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業」の掲載内容について
- ② 『日中医学』 Vol. 32 No. 2 「特集：がんの集学的治療（連携）」の特集内容について
- ③ 『日中医学』 Vol. 32 No. 3、No. 4 の特集テーマについて
- ④ 『日中医学』 Vol. 32 No. 1 からの新連載コラムについて
- ⑤ 『NEWS LETTER』の今後のあり方について
- ⑥ ホームページの拡充（情報発信のあり方について）

### 3) 第 3 回委員会

日 時：2017 年 2 月 3 日(水) 18:30～20:00

場 所：学士会館

出席者：委員 7 名、委任状出席 2 名、林謙治業  
務執行理事（担当理事）

議 案：

- ① 『日中医学』新コラム「架け橋」・「ニュースレター」について
- ② 『日中医学』表紙デザインの改訂について
- ③ ホームページのリニューアルについて
- ④ 広報委員会委員改選について

## 総務報告

### I. 中国国家衛生・計画生育委員会関係部門との協議

中国国家衛生和生育委員会との協力事業は、第5次笹川医学奨学金制度を含む日中笹川医学奨学プロジェクトを固めた後で、検討・協議することとして双方了解した。

### II. 財務基盤の拡充

#### A. 会員拡大

##### 1. 2016年度会員数の推移

	当年度 期初	入退会	当年度 期末
名誉会員	8名	入会 1名 退会 0名	8名
個人会員	402名	入会167名 退会 29名	540名
法人会員	68社	入会 9社 退会 3社	73社
特別会員	3社	法人会員から特別会員へ変更 1社 退会 0社	4社

※会員規程第9条第2項に基づき、2014年度から3年間会費未納の者（法人を含む）は、2017年4月1日をもって退会扱いとした。

#### B. 募金活動

##### 1. 一般寄付金・特別寄付金

団体・法人・個人にご協力いただいた寄附金等は、当協会が実施した研究助成事業、学術会議開催、医療協力事業に充当した。

##### 1) 一般寄付金

a. 団体・法人 1件 計 1,000,000円

##### 2) 特別寄附金

a. 団体・法人 2件 計 21,878,000円

### 2. 日中笹川医学奨学金制度30周年記念事業スポンサーシップ

日中笹川医学奨学金制度30周年記念事業開催にあたりご協力いただいたスポンサーシップは、日中笹川医学奨学金制度30周年記念事業に充当した。

スポンサーシップ協力金総額：2,993,800円

(p.4「日中笹川医学奨学金制度30周年記念事業スポンサーシップ協力企業・団体・大学」参照)

### C. 日本財団に対する助成金申請

日本財団から2017年度助成金申請に対する審査結果通知（2017年2月23日付）を受理した。

#### ① 日中笹川医学協力プロジェクト

助成金額 65,230,000円

#### ② 基盤整備事業

助成金額 28,980,000円

①+②計 94,210,000円

### III. 協会運営に係わる事項

#### A. 内閣府による立入検査実施

内閣府による立入検査は、公益財団法人に移行後3年に一度実施される。協会は今年度、立入検査の実施対象法人となった。

日時：2017年3月17日(金) 10:00～16:00

場所：協会事務所会議室

検査人：

岡林比呂也 内閣府大臣官房公益法人

行政担当室参事官補佐

(併) 公益認定等委員会事務局

審査監督調査官

菅野浅雄

内閣府大臣官房公益法人

行政担当室室員



(併) 公益認定等委員会事務局  
政策企画調査官

対応者：安達 勇 副会長・理事  
本田伸吾 事務局長  
岡田光子 事務局次長  
末原珠生 総務・広報担当  
浮ヶ谷紀子 経理担当

概要：

内閣府による立入検査は、内閣府が公益認定した通りに実施・運営されているか、公益認定等委員会が3年に一度訪問し、内閣府へ毎年度提出される事業報告・決算報告書類と当該法人の定款等に基づき、ヒヤリングと実地検証によって実施状況を確認するものである。

講評：

大きな指摘事項はなく、概ね良好な事業運営を行っているとの評価であった。指摘事項と留意事項は、以下とおりである。

指摘事項：

- ① 業務執行に係わる理事会への報告が定款を満たしていない(定款第27条第5項)。
- ② 役員等の選任は「候補者」の一括審議ではなく、候補者個人別の採決が必要である。

留意事項：

- ① 日中笹川医学協力プロジェクトは、内閣府公益認定等委員会事務局から見て、「日本財団」の事業であって、「日中医学協会」はその下請けに過ぎず、日中医学協会の公益事業と言えるかとの疑念がある。本日の説明で、そうでは無いことを理解したが、3年に一度の立入検査では人も変われば、同じ疑念が指摘されることもある。日中医学協会が主体性をもって事業実施していることを「要項」等に定めておくと良い。
- ② 認定を受けた事業で、実施していない事業については、定期報告等では「休止」しているとした方が良い(「廃止」とする場合は、変更認定申請を要する場合がある)。

B. 役員の改選

1) 理事の辞任に伴う補欠選任

森岡恭彦理事(日本赤十字社医療センター名誉院長)から、当協会理事の辞任届があったため、公益第6回評議員会(2016年6月15日)に於いて補欠選任し、春日雅人氏(国立国際医療研究センター理事長、総長)が選任された。

2) 副会長の辞任に伴う補欠選任

山科透副会長(日本歯科医師会前会長)から、当協会副会長の辞任届があったため、公益12回理事会(2016年5月26日)に於いて補欠選任し、堀憲郎氏(日本歯科医師会会長)が選任された。

3) 評議員の辞任に伴う補欠選任

石井正三評議員(日本医師会前常任理事)、藤原英憲評議員(日本薬剤師会前常務理事)から、当協会評議員の辞任届があったため、公益7回評議員会(2016年8月31日)に於いて補欠選任し、道永麻里氏(日本医師会常任理事)、渡邊和久氏(日本薬剤師会常務理事)が選任された。

日中笹川医学奨学金制度第 38 期研究者名簿 (2016 年 4 月～2017 年 3 月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
	研究テーマ		
葛海燕	復旦大学附属華東医院・主治医師 (講師)	北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学	西村 正治 教授
	マウスモデルを用いた肺気腫、気管支喘息の病態解明に関する基礎研究		
鄭衛青	南昌市疾病予防控制中心・検験技師 (助教)	帯広畜産大学原虫病研究センター	玄 学南 センター長
	マダニ媒介感染症に関する研究		
楊 光	山西省腫瘍医院・医師 (助教)	埼玉医科大学国際医療センター	小山 勇 病院長
	消化器癌治療に関する研究		
魏霞蔚	四川大学華西医院・助理研究員 (助教)	東京大学分子細胞生物学研究所 高難度蛋白質立体構造解析センター	豊島 近 教授
	P 型 ATPase の構造生物学		
孫長博	中国医科大学附属第一医院・住院医師 (研修医)	東京大学医学部附属病院呼吸器外科	中島 淳 教授
	呼吸器外科低侵襲手術及び肺癌の術後予後因子に関する研究		
俞 芸	上海交通大学医学院附属新華医院・主治医師 (講師)	東京大学医学部附属病院肝胆膵外科	國土 典宏 教授
	肝胆膵手術の周術期において感染症対策の視点に基づいた基礎的及び臨床的研究		
王 煜	内蒙古医科大学附属医院・主治医師 (講師)	東京大学医学部附属病院産婦人科	藤井 知行 教授
	子宮内膜症における CDH11 の発現と機能の解析		
梁 静	天津市第三中心医院・副主任医師 (准教授)	東京女子医科大学消化器外科	山本 雅一 教授
	消化器内視鏡検査・肝がん病理診断		
盧永平	遼寧省計画生育科学研究所・助理研究員 (助教)	東京女子医科大学統合医科学研究所	山本 俊至 准教授
	ヒト遺伝性疾患に関する研究		
許文成	湖北省中医院・主管薬師 (講師)	東京薬科大学薬学部 和漢薬物学講座・臨床薬理学教室	山田 陽城 特任教授
	ヒト由来細胞に対する漢方薬由来成分の作用に関する研究		
趙宏波	河南省安陽市腫瘍医院・主治医師 (講師)	国立がん研究センター中央病院食道外科	日月 裕司 科長
	食道癌治療における 3 領域リンパ節郭清		
成 穎	西安交通大学第二附属医院・主治医師 (講師)	東京医療センター臨床研究センター	加我 君孝 名誉センター長
	Galvanic VEMP (前庭頸筋電位) の記録法の開発と正常成人の記録		
胡瓊英	成都中醫藥大学附属医院・主管技師 (講師)	金沢医科大学糖尿病・内分泌内科学	古家 大祐 教授
	糖尿病腎症の発症進展機序の解明と新規治療戦略の開発		
羅 蕾	四川省腫瘍医院・主管護師 (講師)	静岡県立静岡がんセンター	鶴田 清子 副院長
	日本と中国の緩和ケア看護の比較		
鄭佳連	遼寧中醫藥大学附属医院・主治医師 (講師)	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学	後藤 秀実 教授
	NASH マウスモデルにおける漢方薬の効果		
韓 瑩	黒龍江中醫藥大学・助理研究員 (助教)	名古屋市立大学大学院薬学研究所生薬学	牧野 利明 教授
	生脈散及びその血液中代謝産物の in vitro 試験によるアルツハイマー病予防作用		
劉 鉄	首都医科大学附属北京朝陽医院・副主任医師 (准教授)	国家公務員共済組合連合会名城病院 整形外科・脊椎脊髄センター	川上 紀明 脊椎脊髄センター長
	脊柱変形手術の治療成績の検討		
李文雅	中国医科大学附属第一医院・主治医師 (講師)	京都大学大学院医学研究科放射線遺伝学	武田 俊一 教授
	抗癌治療薬の作用機序に関する遺伝学的研究		
胡 沁	四川大学華西医院・護師 (助教)	兵庫県立大学地域ケア開発研究所	山本 あい子 教授
	中国の看護職における災害看護能力の探索		
顧文奇	上海市第六人民医院東院・医師 (助教)	奈良県立医科大学整形外科	田中 康仁 教授
	足の外科の臨床並びに基礎研究		
張立民	滄州市中心医院・医師 (助教)	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇	森松 博史 教授
	周術期における組織酵素代謝に関する研究		
陳富強	山東省血液中心・主管技師 (講師)	広島大学大学院医歯薬保健学研究院免疫学	菅野 雅元 教授
	Epigenetics 機構による胸腺内 T 細胞の分化制御		
張 鳳	四川省腫瘍医院・護師 (助教)	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 老年・がん看護開発学	宮下 美香 教授
	乳がんサバイバーの症状クラスター：系統的文献検討		
張 尋	北京市疾病予防控制中心・微生物検験師 (助手)	香川大学医学部分子微生物学	桑原 知巳 教授
	慢性炎症性疾患における粘膜細菌叢のメタゲノム解析		
馮 浩	中国医科大学附属第一医院・主治医師 (講師)	九州大学大学院医学研究院眼科学	園田 康平 教授
	糖尿病黄斑浮腫形成における ROCK の関与		

# 日中消化器内視鏡診断治療・病理合同研修プロジェクト第3期研修生名簿

(2016年11月～12月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
于岩波	山東大学齐鲁医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	渡辺純夫 主任教授
	消化器内科・主治医師（講師）	消化器内科	
王 曉	山東大学齐鲁医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	八尾隆史 部長
	病理科・主治医師（講師）	病理診断部	
李 嵐	浙江大学医学院附属第一医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	渡辺純夫 主任教授
	消化器内科・副主任医師（准教授）	消化器内科	
李 君	浙江大学医学院附属第一医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	八尾隆史 部長
	病理科・副主任医師（准教授）	病理診断部	
張鶴鳴	雲南省第一人民医院	がん研究会有明病院	五十嵐正広 顧問
	消化器内科・副主任医師（准教授）	消化器内科	
梁 銳	雲南省第一人民医院	がん研究会有明病院	石川雄一 センター長
	病理科・副主任医師（准教授）	臨床病理センター	
宋 軍	華中科技大学同济医学院附属協和医院	東邦大学医療センター大森病院	五十嵐良典 部長
	消化器内科・副主任医師（准教授）	内視鏡部	
鄭麗端	華中科技大学同济医学院附属協和医院	東邦大学医療センター大森病院	澁谷和俊 教授
	病理科・教授、主任医師（教授）	病理診断科	
蔡雲龍	北京大学第一医院	北里大学病院	田邊聡 教授
	内視鏡センター・住院医師（研修医）	新世紀医療開発センター	
農 琳	北京大学第一医院	北里大学病院	村雲芳樹 部長
	病理科・病理医師（助教）	病理部	
張 娟	西安交通大学第一附属医院	静岡県立静岡がんセンター	小野裕之 部長
	消化器内科・主治医師（講師）	内視鏡科	
王春宝	西安交通大学第一附属医院	静岡県立静岡がんセンター	杉野 隆 部長
	病理科・主治医師（講師）	病理診断科	
馮 燕	新疆ウイグル自治区人民医院	静岡県立静岡がんセンター	小野裕之 部長
	消化器科・医師（助教）	内視鏡科	
王 春	新疆ウイグル自治区人民医院	静岡県立静岡がんセンター	杉野 隆 部長
	病理科・副主任医師（准教授）	病理診断科	

# 日中消化器内視鏡診断治療・病理合同研修プロジェクト第4期研修生名簿

(2017年2月～3月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
鄧万銀	福建省立医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	渡辺純夫 主任教授
	内視鏡センター・副主任医師（准教授）	消化器内科	
林 瀛	福建省立医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	八尾隆史 部長
	病理科・主治医師（講師）	病理診断部	
朱曉亮	蘭州大学第一医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	渡辺純夫 主任教授
	一般外科・主治医師（講師）	消化器内科	
張 静	蘭州大学第一医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	八尾隆史 部長
	病理科・主治医師（講師）	病理診断部	
王 晟	中国医科大学附属盛京医院	東京慈恵会医科大学	炭山和毅 主任教授
	内視鏡治療センター・副教授（副教授）	内視鏡科	
徐 燦	中国医科大学附属盛京医院	東京慈恵会医科大学	鷹橋浩幸 診療部長
	病理科・講師（講師）	病院病理部	
張偉鋒	江蘇省人民医院	自治医科大学病院	山本博徳 主任教授
	消化器内科・主治医師（講師）	消化器内科学部門	
李可棟	江蘇省人民医院	自治医科大学病院	福嶋敬宜 部長・教授
	病理科・住院医师（研修医）	病理診断部	
于 丹	黒竜江省医院	東邦大学医療センター大森病院	五十嵐良典 部長
	消化器内科・主治医師（講師）	内視鏡部	
祁紫絹	黒竜江省医院	東邦大学医療センター大森病院	澁谷和俊 教授
	病理科・主治医師（講師）	病理診断科	
王 娜	河北医科大学第二医院	東邦大学医療センター大森病院	五十嵐良典 部長
	消化器科・主任医師（教授）	内視鏡部	
崔晋峰	河北医科大学第二医院	東邦大学医療センター大森病院	澁谷和俊 教授
	病理科・主治医師（講師）	病理診断科	

## 日中医学協会役員等名簿（任期：2017年度定時評議員会の終結の時まで）

評議員	池田 裕	医療法人光陽会磯子中央病院名誉院長
〃	石館 光三	公益財団法人東京生化学研究会常務理事
〃	一戸 達也	東京歯科大学副学長
〃	稲葉 裕	順天堂大学名誉教授
〃	緒方 剛	茨城県土浦保健所長 兼 竜ヶ崎保健所長
〃	金井 隆典	慶應義塾大学教授
〃	洪 愛子	公益社団法人日本看護協会常任理事
〃	小林 慶太	公益社団法人日本歯科医師会常務理事
〃	杉山 清	星薬科大学副学長
〃	曾根 智史	国立保健医療科学院次長
〃	高橋 和久	順天堂大学教授
〃	高松 研	東邦大学医学部長
〃	寺本 明	独立行政法人労働省健康福祉機構東京労災病院院長
〃	中尾 浩治	テルモ株式会社顧問
〃	根本 則道	日本大学教授
〃	範 江林	山梨大学教授
〃	松本 謙一	サクラグローバルホールディング株式会社代表取締役会長
〃	道永 麻里	公益社団法人日本医師会常任理事
〃	山口 建	静岡県立静岡がんセンター総長
〃	山田 陽城	北里大学名誉教授
〃	渡邊 和久	公益社団法人日本薬剤師会常務理事
名誉会長	杉村 隆	国立研究開発法人国立がん研究センター名誉総長
〃	森岡 恭彦	日本赤十字社医療センター名誉院長
会長（代表理事）	高久 史麿	日本医学会会長
理事長（代表理事）	小川 秀興	学校法人順天堂理事長
副会長	安達 勇	静岡県立静岡がんセンター参与
〃	坂本 すが	公益社団法人日本看護協会会長
〃	住友 雅人	日本歯科医学会会長
〃	堀 憲郎	公益社団法人日本歯科医師会会長
〃	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会会長
〃	横倉 義武	公益社団法人日本医師会会長
業務執行理事	新井 一	順天堂大学学長
〃	江藤 一洋	一般社団法人アジアデンタルフォーラム理事長
〃	林 謙治	国立保健医療科学院名誉院長
〃	日比 紀文	北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長
理事	安達 勇	静岡県立静岡がんセンター参与
〃	跡見 裕	杏林大学学長
〃	池谷田鶴子	順天堂大学国際交流センター運営委員
〃	尾身 茂	独立行政法人地域医療機能推進機構理事長
〃	春日 雅人	国立研究開発機構国立国際医療研究センター理事長、総長
〃	木村 政之	日本製薬団体連合会理事長

- 〃 近藤 達也 独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長
- 〃 庄田 隆 第一三共株式会社相談役
- 〃 手代木 功 塩野義製薬株式会社代表取締役社長
- 〃 林崎 良英 特定国立研究開発法人理化学研究所理事長補佐
- 〃 平岡 眞寛 日本赤十字社和歌山医療センター院長
- 〃 堀田 知光 国立研究開発法人国立がん研究センター名誉総長
- 〃 松原 謙二 公益社団法人日本医師会副会長
- 〃 三宅 養三 学校法人愛知医科大学理事長
- 〃 武藤徹一郎 公益財団法人がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長

- 監 事 小野喜志雄 国際医療福祉大学大学院教授（国際担当）
- 〃 金井 淨 公認会計士
  - 〃 星合 昊 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林医療福祉センター総長

- 顧 問 趙 群 遼寧省政治協商会議常務委員



2016年度事業報告附属明細書  
公益財団法人日中医学協会  
TEL 03-5829-9123  
FAX 03-3866-9080  
発行日 2017年5月23日  
発行人 小川秀興  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3 住泉KMビル6階